

現場実証概要(令和7年現場実証結果)

技術名	国土交通省仕様カメラで取得した画像による流向判定技術(画像処理ユニット)
技術概要	<p>本技術は国土交通省仕様HDカメラで取得した画像から流向を判定する技術で、4段階(順流/逆流/滞留/不定)の状態を判定できる。従来は監視員の目視判断に頼っていたが、以下の効果がある。</p> <p>(1)同じエリアの流向を常に同じ判断基準で判定するため、属人的な判断差異がなくなる。</p> <p>(2)流向変化の見逃しを抑止できる。</p>
実証結果	<p>当該画像処理ユニットは国土交通省仕様HDカメラの映像ストリームを取り込んで流向判定を行う装置である。今回は録画画像からオフラインで解析を実施し流向検知が可能なことを確認した。また、肉眼では水路全体の流れがおよそ一定方向と判断できても、川岸近くで流向が乱れる影響を受け流向が「不定」となる場合があったが、検知枠の位置、流向判定しきい値の設定を調整すれば適切な流向判定となることを併せて確認した。</p>
現場実証状況	
問合せ先	<p>開発団体名</p> <p>三菱電機株式会社</p> <p>担当者</p> <p>井出 卓磨</p> <p>TEL</p> <p>070-7487-5598</p>